

2024年5月号

ニュースレター

Ange

実践を通して思うこと...

Ange は今年の8月で丸12年になります。2年に1度の実践報告会を始めて今年で5回目になります。私が実践を初めて書いたのは、他市の児童発達支援センターに勤めていた時です。先輩保育士から「何を書いてもいいよ」と言われ、よくわからず書きました。先輩方の報告を読んで、「あ〜、こうやって書くのか」と、とても恥ずかし思いをしたのを覚えています。私は実践報告会がない年も、記録として毎年書いてきました。書くには、子どもたちの毎日様子やいつ頃から変わって来たのか、今日だけなのか、特別な日だけなのか、色んな仮説を立てながら子どもを観察することが大切です。そして、「こんな風に成長できたらいいな〜」と願う姿を思い浮かべながら、どの子も主体的に参加できる活動を考え、「あ〜、楽しかった」と放課後の時間を過ごせる事を大切にしてきました。その結果、子どもたちが少しずつですが変化（発達）していくのでその様子を実践記録として残しています。

また、5年前から取り組んできた性教育。実施期間は短いのですが、放課後等デイサービスで取り組んでいる事業所が数少なく、今年の夏には（8月3・4日）”人間と性”教育研究協議会の全国大会において、障害児者サークルの中で実践を発表するチャンスをいただきました。学校現場ではハードルが高く、性教育を安易に進められない現状があります。私は放課後等デイサービスという法人内だからこそここまでできたのだと思っています。先日は季刊セクシュアリティという季刊誌にも実践を載せて頂き、日本福祉大学教授の伊藤修毅先生からまずまずの評価をいただくことができました。悩みながら、迷いながら、でも、子どもたちや青年たちと楽しみながら実施してきた性教育が、このように認められるのは、実践者としてこの上ない喜びです。Angeの性教育は発達年齢に合わせて行なっています。小グループで行う場合もありますが、事業所全体で、また日々の関わりの中などあらゆる所で性教育は散りばめられています。性教育は人権教育とも言われています。これからも丁寧に実践を広げていきたいと思ひます。

今年も実践を書くにあたり、個人情報についての同意や発表する内容の確認など、保護者様にもご協力をお願いすることもあると思いますが、どうぞ、よろしくお願いいたします。

※季刊セクシュアリティに掲載された実践を同封いたします。ご覧ください。

郡 奈美



性教協全国大会

研修実施予定！申し込み受付中！

6/13(木)

将来の暮らしの場のひとつ
〜グループホームの利用事例〜講師：水上 さゆり
(徳洋福祉会相談支援専門員)

申し込みQR



※外部の方など、どなたでも受講可能です。詳しくはお問い合わせください。オンデマンド配信あり！

■場所：Ange（服部）又はzoom ■時間：AM10:00〜 ■参加費：徳洋福祉会利用者500円・外部の方1000円/1名
■申し込み・お問合せ：TEL(06) 6151-2996 Mail: nakagawa@tokuyo.me 担当：中川

きのした先生
自己紹介おねがいしま〜す！

新しいスタッフの紹介

こんにちは。2月からスタッフとしてお世話になっております、木下 のり子です。ママさんバレーボールをしています。アンジュで働き出して、はや三ヶ月。こっちに来て！と、手招きをしてくれる子がいて、いつもほっこりした気持ちになります。まだまだ新米ですが、アンジュでたくさん勉強させていただき、子供たちに信頼され、成長の手助けができるように頑張っていきたいと思っています。これからよろしくお願いいたします。



母の日せいさく

〜おかあさんいつもありがとう〜

今年の母の日制作はマーブリングで半紙を色づけ。自分で好きな色を選んで液を水に垂らし半紙を水に浮かべると半紙に色が写ります。スタッフが見本を見せ、水から半紙を持ち上げると「おおー！」と目を輝かせていた子どもたち。自分もやりたいと次々手を挙げていました。マーブリングの醍醐味は半紙に色が写る瞬間。自分で半紙を浮かべる子も、スタッフと一緒に半紙を浮かべる子もいましたが、どちらもその瞬間は目を離さず、半紙に写る所をじーっと見ていました。中にはドキドキしてしまい「先生やってよ」とお願いする子も。どの子もとっても素敵に出来上がりました。ティッシュペーパーを包装して水性ペンのにじみ絵で色づけしたお花を添えてお届けします。

おおー！きれいだね！

ママへのプレゼント！

天竺のはらっぱ

毎年恒例になりつつあるGWの「天竺のはらっぱ」へのお出かけ。今年は5月6日に行きました。天気が怪しく、行けるかな？中止かな？と午前中は心配していましたがなんと天気も持ち行くことができました！ハンモックや丸椅子ブランコ、大きな穴ぼこにはつたって降りられるようにロープを設置し思い思いに遊びます。去年は滑り落ちそうで怖くて乗れなかった丸椅子ブランコに、ひょいと簡単に乗っている子の姿をみて、1年で成長したな〜と思いました。大きな穴ぼこでは用意したスコップでトンネルを作る子も。スタッフの手を借りながらトンネルが開通すると大満足！その他にも原っぱには倒木や切り株などが沢山点在しているので、色々なところを大冒険していました。スタッフが木や草を組み立てて「サバイバルだー！」と小さな木の家を作りました。それを見て「さうだーさうだーさうだー」と3匹の子ブタの劇遊びで豚が家を作る時の歌を歌い始める子もいました。のびのびと自然を満喫できた1日でした。

おもいだ！

いかにっか！